

中学校へつなげる

高学年になると中学校へ向けた生活や学習についても意識していく必要があります。ここからは中学校の様子について述べていきますので、お子様と話し合う機会を持っていただけたらと思います。

中学生って

体つきが大きくなり、普段の生活もほとんど自分でできるようになります。さらに、大人顔負けの言葉を使ったり、親に反発したりします。外見的に見ると大人に近づいた状態です。しかし、内面的に見ると、大人の部分と子どもの部分をちょうど半分ずつ持っている。これが中学生です。

小学生の頃は「学校のこと、友達のこと、何でも話してくれ、親の言うことは聞き入れてくれる」という感じで、子どものことを理解しやすかったのに、中学生になると「学校や友達の話は話してくれなくなり、何となく会話しにくい感じがしたり、反発されることも多くなる」ということも多くなると思います。子どもの本当の姿が見えにくくなる時期でもあります。でもこれは、一人の大人として自立する第一歩として表れる現象でもあります。

中学校と小学校の出口の違い

中学校の小学校との大きな違いは、それぞれのお子さんの目標によって卒業までに進路を決定していかなければならないことです。その時に通らなければならぬ関門として、高校受験があります。ほとんどの場合、入学選抜試験を受験しなければなりません。中学校で学習した内容を書いて表現できなければならぬということです。

定期テスト

小学校では、各教科で単元が終わるたびにテストがあります。中学校では、これに加え中間テストや期末テストといった定期テストもあります。また、自分の現時点の学力をはかる学力テストもあります。テストの回数は減りますが、テスト範囲が広くなり、1日に何教科ものテストがあります。日常の学習も大切ですが、テストに向けて計画を立て、その計画を実行していくことも大切です。

成績は・・・。

各学期ごとに中間テスト・期末テストがあります。その結果が大きく関係します。だから、テスト前になると（本当はふだんから行うべきなんだけど・・・）、がんばって勉強します。部活動をしている人も、原則として試験の数日前から活動停止となりますので、だれもが勉強にとりくむこととなります。また、普段の学習も大切であり**授業に取り組む態度や提出物をきちんと出したか、小テスト、単元テストなどをあわせて学期ごとに成績が5段階で成績がつきます。**

『5』 学習した内容が	十分理解され、かなり優れている
『4』	十分理解できている
『3』	だいたい理解できている
『2』	不十分で少し努力が必要です
『1』	不十分でかなり努力が必要です

実はこの成績は、学習点として高校入試に関係します。

つまり、中学1年生の時から高校入試に向けての勉強が始まるんです。